

## どうしたらBreastScreen Aotearoa (ニュージーランド乳がんスクリーニング)に参加できますか

2年ごとにマンモグラフィー検診を受けることにより、  
乳がんにかかった場合の生存率を高めることができます。

早期発見が**最上**の予防策です。

BreastScreen Aotearoa(ニュージーランド乳がんスクリーニング)は女性の乳がん早期発見のための国による無料スクリーニングプログラムで、乳がんによって亡くなる女性の数を少なくすることを目的としています。

### 誰が無料のマンモグラフィー検診を受けられますか？

あなたが次の全ての条件を満たしていればBreastScreen Aotearoaを通して2年に1度マンモグラフィーの無料検診を受けられます。

- 年齢が45才から69才であること
- 乳がんの兆候が見られないこと
- 過去12ヶ月にマンモグラフィー検診を受けていないこと
- 現在妊娠中ではないこと
- ニュージーランド国内での公共医療サービスを受けられる人\*

もしあなたが上記の条件を満たし、過去乳がんにかかったことがある場合には、発見されてから5年後にBreastScreen Aotearoaに再登録することができます。

\*ニュージーランド国内での公共医療障害サービス(無料または助成金による)を受けることが出来る人々についてはEligibility Direction(有資格者要覧)をご覧ください。

有資格かどうかの詳細についてはウェブサイト [www.moh.govt.nz/eligibility](http://www.moh.govt.nz/eligibility)を参照してください。

### 乳がんの罹患率と死亡率はどのくらいですか？

- 乳がんにかかる危険率は年齢と共に高くなります。乳がんにかかった女性の4分の3は50才以上の女性です。
- 乳がんにかかった女性は、乳がんにかかったことのある近親者を持たない事がほとんどです。また、乳がんにかかったことがある近親者いる場合でも、乳がんにかかるリスクの高い人はまれです。

下記の表は、乳がん で亡くなったニュージーランドの女性の年毎の統計です。乳がんには効果的な治療法があり、ニュージーランドの女性を対象とした統計によれば、かかった女性がそれによって亡くなることはまれなケースです。

### 定期的な検診の効果は何でしょうか？

スクリーニングの検診は乳がんの発生を止めることは出来ませんが、乳がんによる死亡率を減少させます。

50才未満であれば、スクリーニング検診を受けることにより乳がん で死亡する確率が約20%減少します。50才と65才の間の年齢であれば、その率は約30%低くなります。65才から69才の間の年齢では45%の減少となります。

## マンモグラフィー検診について何を 知っていれば良いですか？

マンモグラフィーは胸部のX線撮影です。マンモグラフィーを撮る時には、放射線医療技師が、乳房を片方ずつ二枚の撮影版の間に挟んでX線写真を撮ります。写真を撮る間、乳房は数秒間しっかりと撮影版に挟まれます。多くの女性の場合、これには多少の不快感や痛みを伴うこともありますが、胸部に害を及ぼす心配はありません。

## マンモグラフィー検診はどれだけ 正確なものですか？

他のスクリーニング検診と同様に、マンモグラフィー検診も完全とはいえません。実際はすべて正常であるのに、何かが異常だという結果がでることもあります。これは擬陽性の結果("false positive result")といわれます。

2年毎の検診の間に、乳がんの兆候に気がつくこともあります。これは中間期がん("interval cancer")と呼ばれ、次のような原因から起こることがあります。

- マンモグラフィー造影図にがんが映らない場合もあります。これは胸部組織の密度の高い更年期前の女性におこりやすいものです。胸部組織の密度は更年期を経るにつれて低くなります。
- マンモグラフィー造影図を判読する放射線専門医でもがんを見落とす場合があります。これは経験豊かな専門家にも起こりうることです。
- 時としては、がんが急速に進行することもあります。

以上をふまえた上でも、マンモグラフィー検診は乳がん患者の生存率を高めるための早期発見にもっとも有効であると認められている検診方法です。

がんの発症、またはそれによる死亡者数	年齢				
	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69
一万人の女性につき					
乳がんを発症する人の数	18	25	29	33	30
スクリーニング検診を受けずに乳がんで死亡する人の数(毎年)	4	5	7	7	9
スクリーニング検診を受けて乳がんで死亡する人の数(毎年)	3	4	5	5	5

出典: NZHIS: データは1997年から2002年の平均(発症件数)及び1996年から2000年の平均(死亡数)

## マンモグラフィーは:

- 視触診ではわからない乳房の変化を発見することができます。ほとんどの場合、これらの変化はがんによるものではありません。
- 乳がんを早期に発見します。これにより、治療の成功率が高くなります。
- 年毎にマンモグラフィー検診を受ける50才以上の女性の場合、特に効果的です。
- 自覚症状の無い女性のがんを、50才未満の女性では75%、50才以上の女性では85%発見することが出来ます。
- 乳がんの発生を防ぐことはできません。また、乳がんによる死亡を常に防止できるわけでもありません。
- 2年毎にごく少量のX線を使用するだけです。安全です。

## 45才から49才の女性がマンモグラフィー検診について理解すべきこと

定期的なマンモグラフィー検診は45才から69才の女性が乳がんによって死亡する確率を減少するのに役立ちます。しかし、次の二つの理由により、この検診は50才から69才の女性に対してより効果的です。

1. 50才未満の女性の胸部組織は密度が高いためがんの発見が困難になります。50才未満の女性のがんはその4分の1が発見されません。
2. 50才未満の女性では擬陽性の結果が出る率が高く、不必要な検査や不安を引き起こすものとなります。

## BreastScreen Aotearoaが提供するものは?

このプログラムは乳がんの兆候のない45才から69才の年齢の女性に、無料のマンモグラフィー検診を提供するものです。その後の検査も無料です。

検診は2年毎に行われます。

全国のBreastScreen Aotearoaの施設では、BreastScreen Aotearoa National Policy and Quality Standards (ニュージーランド乳がんスクリーニングに関する国家方針および品質基準) で定められた基準を満たしています。またこれらの施設は外部機関によるチェックを受けています。報告書はウェブサイト[www.nsu.govt.nz/Health-professionals/1048.asp](http://www.nsu.govt.nz/Health-professionals/1048.asp)でご覧になれます。

胸部スクリーン検診の後、あなたのマンモグラフィー造影図は少なくとも二人の放射線専門医によって分析されます。

以前に他の機関でマンモグラフィー検診を受けたことがある場合、BreastScreen Aotearoaは今回のものとの比較分析を行う必要があります。

## 結果はどう扱われますか?

マンモグラフィー検診の後、2週間以内に結果が本人に送られます。

- 多くの場合結果は異常なしで、その場合は2年後に再検診の案内が送られます。
- 少数ではありますが、さらに検査が必要な女性には電話で再来の案内を受けます。このサービスも無料で、マンモグラフィー再検診、又は超音波による検査、顕微鏡で胸部組織を分析するための検査をすることもあります。再検査に訪れる女性にがんが発見されることはあまりありません。

- 乳がんが発見されたごく少数の女性は、治療のための専門医を紹介されます。また、乳がんにかかった多くの女性に対しては、がんを除去するための外科手術が勧められます。さらにX線治療、ホルモン治療、化学療法、あるいはそれらを併合した治療を必要とする場合もあります。
- 以前に撮ったマンモグラフィー造影図があればご持参ください。
- 書類の記入が必要となりますので、眼鏡を使う方はご持参ください。
- あなたをサポートしてくれる方や家族の方が同伴されても構いません。

## どうしたらBreastScreen Aotearoa (ニュージーランド乳がんスクリーニング)に参加できますか？

あなたの年齢が50才から69才の間でBreastScreen Aotearoaによる検査を既に受けたことがあれば、このプログラムによる次のマンモグラフィー検診の案内が送られます。また、0800 270 200に電話をして予約をとることもできます。前回の検診時から住所の変更があった場合にもこの電話番号にご連絡ください。乳がんの兆候の見られない45才から69才までの女性も、0800 270 200に連絡して本プログラムに登録することができます。

## マンモグラフィー検診を受けるに当たって

- タルカムパウダー、クリーム、デオドラントなどは、マンモグラフィーによる乳がんの発見をより困難にしますので、検診日にはこれらの使用を控えるようにしてください。
- 上半身の脱衣が必要になりますので、脱ぎやすいブラウスやセーター等を着用してください。
- マンモグラフィー検診を受けるための検診衣が用意されています。
- マンモグラフィー検診の際にはプライバシー保護のために細心の注意が払われます。
- X線技師はみなさんが心地よく検診を受けられるよう心がけています。気になることがあれば何でも担当の女性にご相談ください。

一回の検診には約30分程かかります。

マンモグラフィー検診の結果は直接本人に郵送されます。本人同意のもとでかかりつけの医師にも送られます。

## BreastScreen Aotearoaセンターはどこにありますか？

センターはニュージーランド全土に渡って設置されています。また車椅子でのアクセスもできます。

国内を移動するスクリーニングユニット車もあります。詳しい情報は0800 270 200に電話をするか、ウェブサイト[www.breastscreen.govt.nz](http://www.breastscreen.govt.nz)を参照してください。

もし胸部に何らかの症状(ふだんと違うと感じられる変化)がみられた場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。

こういった異常に気が付いたら、マンモグラフィー検診を待つことなくチェックしてもらうことです。

## 乳がんの可能性をしめす兆候には次の様なものがあります：

- 新しいしこりや厚ぼったい部分
- 乳房の形や大きさの変化
- ふだんと違う乳房の痛み
- 皮膚のしわやへこみ
- 片方の乳首の変化、例えば：

- 内側にくぼんだ乳首
- しぼらないのに出てくる分泌液
- 乳房だけにあらわれる湿疹や赤み

## あなたの権利

医療全般に亘って、患者の権利は「Code of Health and Disability Services Consumers' Rights」(医療と障害に関する消費者権利規約)によって守られています。

またこのプログラムでは「Health Information Privacy Code」(健康情報に関するプライバシー規約)の遵守が義務づけられています。検査記録と胸部X線写真の秘密は厳守され安全に保管されます。

このプログラムの有効性を検査し質の向上を図るために、BreastScreen Aotearoaが次の様な項目に関する情報を収集することをご理解ください。

- 過去に於いてあなたが胸部にどのような治療を受けたか、また将来に於いてどのような治療がなされるかについての情報。
- あらゆる臨床上関係のある情報及びマンモグラフィー造影図とそのレポート。

上記の情報は保健省、又はその関連代行機関であるNational Screening Unit(ナショナルスクリーニングユニット)、BreastScreen Aotearoa(ニュージーランド乳がんスクリーニング)、NZ Health Information Service(ニュージーランド健康情報サービス)、或いはCancer Registry(がん登録局)等が、公立や私設の医療機関からあなたの国民医療番号(NHI)を通じて収集します。

この様な情報収集の結果として、あなたのマンモグラフィー検診はより正確に検査されます。BreastScreen Aotearoaは必要な追跡検査を行い、あなたの次回の検診の連絡をします。

BreastScreen Aotearoaセンターに来院した際に、検査を受ける際の権利について詳しい情報をお知らせします。

## 次の点にご留意ください

年齢にかかわらず、胸部にふだんと違う兆候を感じた場合には、いつでも医師の診察を受けてください。

最寄りのBreastScreen Aotearoaセンターに連絡をとるには、フリーダイヤル0800 270 200に電話をするか、ウェブサイト[www.breastscreen.govt.nz](http://www.breastscreen.govt.nz)を参照してください。

**診療の際に通訳を必要とされる方は事前にお知らせください。通訳者を手配いたします。**